

新しいセンターで初の公開デーを開催しました！

～ 研究成果や奈良県農業・農産物をPR ～

2017年10月28日土曜日、桜井市池之内に移転後初めての農業研究開発センター公開デーを開催しました。あいにくの雨模様でしたが、同時開催したNAFIC祭(主催：なら食と農の魅力創造国際大学校)とあわせ、約500名の方にお越しいただきました。

今年は、受付時に申込みをして参加していただく企画として「研究紹介ツアー」「柿渋染め体験」の2つを行いました。

「研究紹介ツアー」では、実験室や温室などを見学し、担当研究員から研究内容について紹介しました。センターの研究内容に関心の高い方がたくさんご参加くださり、研究員の説明に耳を傾けておられました。

「柿渋染め体験」では、センターが開発した「柿タンニンの抽出方法」を用いて作った柿渋を利用し、綿のハンカチに、輪ゴムやビー玉、割り箸などを用いてさまざまな模様を作って染めました。参加者には、柿渋の用途や効用、研究成果について理解していただきました。また、思いがけない模様が優しい色に染め出されたことに喜んでいただきました。

次に、体験コーナーとして「ミクロの世界観察」と「電動三輪車の試運転」を行いました。

「ミクロの世界観察」では、顕微鏡で生きたハダニ、農作物の病原体、肥料や土づくり資材等を観察しました。ふだん見られないものを見ることができ、子供からご年配の方まで幅広く楽しんでいただきました。日頃の農作業でみかける病害虫に関する質問もあり、対応した研究員は、研究の知見を紹介する機会ともなりました。

「電動三輪車」については、試運転された方から、手元の操作だけで重たいものを簡単かつ安全に運べる道具として、女性やご年配の方でも使いやすそうだと評価していただきました。

そのほか、センターで育成したカブシノイドを含有する美味しいトウガラシ品種‘やまと甘なんばん’と、センターが育種、または今後の育種素材としているキク8品種を紹介し、さらに来訪者による「キク人気投票」を行いました。

‘やまと甘なんばん’の説明を受けた来訪者には、機能性に着目した育種に対してたいへん関心を持っていただきました。「キク人気投票」では、さまざまな形状のキクがあることを知ってもらう機会となりました。

今後も機会をみつけて、研究成果や奈良県農業・農産物を県民の皆様にPRしてまいります。

(研究企画推進係 岡山 彩子)



「ミクロの世界観察」のようす



‘やまと甘なんばん’展示・説明のようす

奈良県農業研究開発センター
ニュース No. 153

2017年12月28日発行

編集発行 奈良県農業研究開発センター
T E L 0744-47-4491(代)
F A X 0744-47-4851
U R L <http://www.pref.nara.jp/1761.htm>
印 刷 株式会社春日